



おばま 市議会だより

No. **146**

議会報告会を開催しました…… P2
12月定例会の概要…………… P4
市政を問う！一般質問…………… P7

議会報告会が開催されました

10月21日（水）、23日（金）、27日（火）の3日間にかけて、全12地区の公民館で議会報告会を開催しました。

「議会報告」「北陸新幹線若狭ルートについて」の2つのテーマで報告した後、意見交換を行い、幅広い分野の貴重なご意見を数多くいただきました。

○議会報告会とは？

平成25年4月1日に施行した小浜市議会基本条例により、年1回以上議会報告会を開催し、議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆さまからのご意見を議会活動に反映させることになっていきます。

いただいたご意見は、議会報告会連絡会（議長、副議長、各常任委員長、広報委員長、各報告会場の班長）において整理し、政策討論会などの議論や議会の政策立案、政策提言に生かします。

また、この報告会で皆さまからいただいたご意見は小浜市へもお渡ししております。

○今回の各会場の参加者数

雲浜公民館	25人
西津公民館	10人
内外海公民館	9人
国富公民館	16人

小浜公民館	32人
宮川公民館	28人
今富公民館	20人
加斗公民館	11人
松永公民館	18人
遠敷公民館	27人
口名田公民館	41人
中名田公民館	11人
合計	248人

○どのような意見があったの？

- ・北陸新幹線若狭（小浜）ルート実現に向けての取り組み状況と課題は。
- ・市民体育館の駐車場整備や災害時の対策についての考えは。
- ・若い人が選挙に出やすい土壌づくりを。土日の議会、夜の議会、仕事を休んで議会に出られるなどの環境整備ができないか。
- ・火葬場の老朽化がひどいが、今後の予定は。
- ・人口問題対策特別委員会ではどのような話し合いが行われているのか。
- ・議員定数、議員報酬、政務活動費について。
- ・あいあいバスのデマンドタクシー化やルート変更による利用者の増加は図れないか。
- ・係留されている雲龍丸の活用方法は。
- ・舞鶴若狭自動車道の4車線化に向け取り組みしてほしい。
- ・学校給食は現在自校方式だが、小学校の統合などもあり、今後の方針は。
- ・小浜病院を地域の拠点病院として充実させる取り組みは。
- ・空き地、空き家対策についての取り組みは。
- ・小浜市が所持している文化財をもっと活用すべきでは。
- ・まちの駅の指定管理者が民間企業の会社になると、市民が公共的な活動に使用しづらくなかないか。
- ・企業誘致の見通しは。
- ・など、そのほかにも多くのご意見をいただきました。



中名田



内外海



松永



西津



加斗



口名田



小浜



遠敷



今富



雲浜



宮川



国富

アンケート結果

(220名の方にご回答いただきました)

【本日の議会報告会の評価】

わかりやすかった

34%

どちらとも言えない

44%

わかりにくかった

5%

無回答

17%

【興味がある分野】

まちづくり

20%

産業

18%

防災

17%

福祉

11%

観光

8%

議会

7%

環境

7%

教育

5%

歴史文化

2%

その他

【議会だより】

毎回見ている

45%

興味のある部分だけ見る

43%

見たことがない

11%

発行を知らない

1%

【自由記載欄】(一部抜粋)

・大まかすぎず、わかりやすい報告会資料がほしい。

・昨年より広い範囲に渡った意見が出たと思う。

・回答も前より活発だった。

・聞く耳を持って聞いていただけたのが非常に良かった。

・直接市政の件で話をするのは、地区民にとって良いことだと思う。

・今後も開かれた議会を希望する。



12月定例会の概要

平成27年第5回定例会
が12月1日から同月21日
まで、21日間の会期で行
われました。今定例会で
は、各会計の補正予算の
ほか条例やその他議案等
の審議を行いました。ま
た専決処分に関する2件
の報告を受理しました。
主な内容については次の
とおりです。

指定管理

◆小浜市まちの駅の指定
管理者の指定について
賛成多数で可決

陳情

◆年金積立金の専ら被保
険者の利益のための安
全かつ確実な運用に関
する意見書（決議）の
採択を求める陳情書
賛成全員で採択

条例

◆小浜市行政手続におけ
る特定の個人を識別す
るための番号の利用等
に関する法律に基づく
個人番号の利用および
特定個人情報提供に
関する条例の制定につ
いて
賛成多数で可決

意見書

◆年金積立金の専ら被保
険者の利益のための安
全かつ確実な運用に関
する意見書
賛成全員で可決

◆小浜市住民基本台帳
カードの利用に関する
条例の廃止について
賛成全員で可決



【可決した平成27年度補正予算】

会計名	既決予算額	12月補正額	合計
一般会計	169億6,390万円	3億5,082万円	173億1,472万円
特別会計	94億2,388万円	△903万円	94億1,485万円
企業会計	8億6,506万円	△5万円	8億6,501万円
計	272億5,285万円	3億4,173万円	275億9,457万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

寄附行為の禁止について

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。

禁止されている例として以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病気見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状（答礼のための自筆を除く）

また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。

●12月定例会で可決した意見書

▽年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

【概要】年金積立金は、厚生年金保険法等の規定にもとづき、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用をするように求めるもの。

平成27年第5回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
報告	議会の委任による専決処分報告について (損害賠償の額を定めることについて)
	議会の委任による専決処分報告について (損害賠償の額を定めることについて)
予算	平成27年度小浜市一般会計補正予算(第5号)
	平成27年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
	平成27年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	平成27年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
	平成27年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
	平成27年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
	平成27年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
	平成27年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)
	平成27年度小浜市水道事業会計補正予算(第1号)
	平成27年度小浜市一般会計補正予算(第6号)
	平成27年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
	平成27年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第2号)
条例	小浜市退職料等条例等の廃止について
	小浜市住民基本台帳カードの利用に関する条例の廃止について
	小浜町並み保存資料館の設置および管理に関する条例の一部改正について
指定管理	小浜市農産物加工施設の指定管理者の指定について
	小浜町並みと食の館の指定管理者の指定について
陳情	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める陳情書
意見書	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書
その他	訴訟上の和解について



【採決表示ボタン】

●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後約2週間程度で視聴できます)などさまざまな情報を掲載しています。



小浜市議会

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
 ※垣本正直議員は議長のため採決には加わっておりません。
 ※秘密会の開催については、特別多数議決のため、議長も採決に加わります。

項目	件名	採決結果	熊谷	竹本	牧岡	藤田	佐久間	西本	小澤	今井	能登	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	宮崎	賛成	反対	
			久恵	雅之	輝雄	靖人	清司	長純	伸治	恵子	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦	宇蔵				
条例	小浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報提供に関する条例の制定について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	16	1	
指定管理	小浜市まちの駅の指定管理者の指定について	多	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	×	14	2	
その他	秘密会の開催について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0

委員会審査

予算決算常任委員会 (12月補正)

◆人件費について

問 4月からの給与改定に伴う職員の給料・手当等全会計の補正額合計は5114万円の減額。当初予算で予定されていた、職員数の変動の要因は。

答 当初予算算定後の退職、再任用の辞退、年度途中の退職等による。

問 退職事由について。

答 ほとんどが自己都合であるが、介護を理由とする者もいた。

意見 国が介護離職ゼロを目指す中、市においても個人の事情とはいえ、そうした面も考慮されたい。

◆まちなか丸ごとテーマパーク化事業 2600万円

説明 本市の観光スポットを結ぶ周遊バスを整備。観光エリア化に取り組み、観光交流人口の拡大、地域経済の振興、雇用の創出につなげるもの。

問 事業の趣旨と経費の内訳、運行経費、運行計画など

ランニングコストに係る事業概要の説明を求めぬ。

問 デジタルアーキビストの育成方法や年次計画、Wi-Fi環境の箇所付けと整備、レトロバスの仕様と環境への配慮、便数および経路、小浜駅の活性化、バス周遊のあり方などについて。

要望 本委員会での意見を反映して、新年度からの事業実施が効果あるものとなるよう望む。

◆私立保育園保育委託事業 5622万円

説明 国の基準単価および処遇改善等の引き上げに伴う運営費の増額に対応するための補正。

問 基準単価の上昇等は、保育園運営にどのような影響を与えるのか。

答 4月から国の基準単価等の上昇に伴い委託料も増額しており、これまでより運営の負担は軽減されていると考えている。

◆介護予防支援事業 93万3000円

説明 予防給付ケアプラン作成に関する介護報酬の改定と作成委託実績件数の増加による補正。

問 大幅な件数増の要因は。

答 要支援認定者の増加により、プラン作成件数が年々増加している。従来は要介護2〜5の中重度の方が多かったが、最近はや支援1〜2、要介護1の方が増えてきており、そのあたりの見通しが甘かった。

問 国・県の介護認定率との比較の中で、小浜市の認定率はどうか推移していくのか。

答 小浜市の介護認定率は、全国の17.9%に対し19.1%と1.2%高くなっている。国・県の右肩上がり状況に対し、小浜市は横ばい状態であり、その差は縮まっていくと予測している。

問 今後、要支援・要介護1の方が介護サービスから外れることになるが、どのように取り組んでいくのか。

答 平成29年4月からは、独自の地域支援事業を受けていただくことになる。現在、民生委員、介護保険事業者等による準備委員会を設置し検討しているところ。

◆小浜市空き工場等活用補助金 3000万円

問 空き工場等活用補助金交付要綱の中に10年以上操業を継続するなどの条件があるが、10年以内に事故があった場合はどうなのか。

答 交付要綱第18条に補助金の項目がある。労働者の増加数の報告と合わせて、業績も含め企業との密接な情報交換を図り、そういう状態にならないよう努める。また、交付に際しても十分な調査を行う。

問 交付要綱の工場の取得とは、賃貸契約による取得を行い、改修や設備投資で基準を上回れば適用になるのか。

答 取得というのは建物を購入すると定義づけしており、賃貸契約による取得は対象とならない。

◆まちの駅付帯施設整備事業 2280万円

問 テナントのニーズが不明なのに備品を揃えられるのか。

答 市が描いた図面に基づき、整備しなければならぬ必要な備品を購入するもの。

◆社会資本整備(道路修繕) 510万2000円

問 今の管理・設備状況で、老朽化するインフラ整備の修繕管理に市民は満足しているのか。

答 すべて満足いただいている状況ではないと考えている。限られた予算の中で、危険度・優先度を見極めながら順

次行っており、今後は新規で作るより、維持管理・メンテナンスにシフトせざるを得ない。

◆旭座整備事業 2770万円

問 旭座の基本的なスタイルは畳なのか椅子なのか。また置や椅子・花道の収納場所は。

答 文化財として畳と花道それから床敷が基本。交流ホールとして活用するという目的もあることから、椅子も使えるように可動式にした。収納場所は楽屋の倉庫か舞台裏を考えている。

総務民生常任委員会

◆議案第97号 小浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報提供に関する条例の制定について

説明 個人番号の利用および特定個人情報提供に関する必要な事項を定めるもの。

問 住民サービスの向上が図られるということだが、具体例を問う。

答 例えば転入手続きで、条

例に定められた項目について所得証明が不要となり、申請の簡素化が図られる。

問 個人カードへの顔写真の掲載など、マイナンバー制度に対する市民の理解が徹底されていないように思われる。しっかりと周知すべきでは。

答 「広報おばま」や「マイナンバーのお知らせ」の冊子を1000件余りの事業所に配布した。出前講座も行って、今後とも周知徹底を図っていく。

意見 情報提供等記録開示システムを平成29年1月から導入予定とのこと、パソコンを使わない方の閲覧についても対応していただきたい。

◆陳情第3号について

意見 6月定例会から継続審査となっていたが、その後の経済情勢をみて、ある程度判断できる状況にきている。

産業教育常任委員会

◆議案第99号 小浜町並み保存資料館の設置および管理に関する条例の一部改正について

説明 小浜町並み保存資料館

の移設に伴い、同条例を一部改正するもの。

問 移設先での家賃は。

答 前の資料館と同額の月額3万5000円の予定。

意見 施設の借り方や改修の仕方、適正な家賃など、将来に渡ってそれらが生きるような取り組みをしてほしい。

◆議案第100号 小浜

市まちの駅の指定管理者の指定について

説明 小浜市まちの駅の指定管理者の指定について、株式会社オーイングを小浜市まちの駅の指定管理者に指定するもの。

問 指定管理の応募と問い合わせの件数は。

答 問い合わせは、大手の企業や地元市内の企業など6社。応募は1社のみ。

問 選定委員会でのどのような議論があったのか。

答 事業計画や、文化財棟やテナントの活用内容についての質疑があった。賑わい創出への取り組みについては、おばま観光局とも連携し、3駅構想も含んだ内容の提案であった。

問 営業時間についての見解は。

答 旭座は時間指定。付帯施設の営業時間については、ま

ちなかの賑わい確保の観点から、今後協議をしていく。

問 選定された企業の指定管理者としての能力を問う。

答 会社設立から20年、売上は昨年度で36億5000万円。県外の体育館施設の指定管理において、様々なイベントを開催し、利用者数を増やしている実績がある。

意見 おばま観光局が、今回指定管理者に応募しなかったことは非常に残念。将来に向かってノウハウを得られる形を今から心がけてほしい。

◆議案第102号 小浜

市町並みと食の館の指定管理者の指定について

説明 小浜町並みと食の館の指定管理者の指定について、有限会社ホテルアーバンポートを指定管理者に指定するもの。

問 一度決まると競合という作用が働かない指定管理のあり方は良い指定管理なのか。それが活性化に繋がっていくのか。

答 競争が生まれて活性化するのが良いと思っている。応募者は積極的な自主事業も提案されており、施設の活性化に繋がると思う。

問 旭座は時間指定。付帯施設の営業時間については、ま

市政を問う！一般質問

平成27年第5回（12月）小浜市議会定例会

ページ	氏名	質問項目	ページ	氏名	質問項目
7	池尾 正彦	1. 原子力災害時における広域避難について 2. (仮称)東部小学校の建設について 3. 北陸新幹線若狭ルートの実現について	9	小澤 長純	1. 交通弱者救済の取り組みについて 2. 健康管理センターの建て替えについて
8	佐久間 博	1. 小浜駅構内の現状について 2. まちの駅の運営について 3. 今後のおばま観光局について	10	下中 雅之	1. 北陸新幹線若狭(小浜)ルートについて 2. 雲龍丸について 3. 地域コミュニティの活性化について
8	風呂 繁昭	1. 小浜市の財政、経済と今後について 2. 観光まちづくりについて	10	宮崎治宇蔵	1. 介護保険法・介護報酬改定について 2. 小浜市行政経営プランによる職員体制について 3. 高浜原発3、4号機の再稼働問題について 4. 高い農業集落排水使用料の軽減について
8	竹本 雅之	1. マイナンバー制度について 2. 市民課窓口業務の民間委託について 3. 原子力災害時における広域避難施設について	10	熊谷 久恵	1. 日本遺産の活かし方 2. 地域資源の掘りおこしについて
9	牧岡 輝雄	1. 少子化、高齢化対策について 2. 地域防災力の強化について	11	能登 恵子	1. 小浜市の公共施設等総合管理計画の経過について 2. 福井県が推進する「食べきり運動」について
9	藤田 靖人	1. 小浜市の活性化について	11	富永 芳夫	1. 市内の河川整備について



池尾 正彦 議員

問 原子力災害時における広域避難について。

答 児童・生徒の避難対応について。

問 訓練の実施効果を高めるため、災害発生時にどういった行動をとるか等、避難に関する学習を行ったうえで避難訓練を実施している。保護者への連絡方法は、「緊急連絡システム」と「防災行政無線」を利用する。

問 保育園児の避難対応について。

答 保護者への引き渡しを原則としている。迎えが来られない場合は、園長等が引率し指定の避難先で保護者に引き渡す。避難した先が保護者にわかるように保育園の玄関や門扉に避難先を掲示する。

問 県内避難先(鯖江市・

越前市)での小浜市職員

の役割分担について。

答 45の施設に職員を配置することは困難であるため、運営については、区長や自主防災組織の役員などに依頼する。小浜市の職員は、数か所の施設の取りまとめや、連絡調整を行う。

問 (仮称)東部小学校の建設について。

原子力災害時の避難対策は万全か

平成27年度事業は順調に工事が進捗している。開校準備事項としては、学校名は平成28年1月に決定する。

問 北陸新幹線若狭ルートの実現について、市長の決意を問う。

答 小浜ルートは小浜市の発展はもとより、国土強靱化や日本経済を元気にするための重要な国家プロジェクトであり、実現にむけて全力で取り組む。

問 松崎市長の3期目への立候補について。

答 立候補し、小浜市のために働きたい。



博 佐久間 議員

○ JR小浜駅構内の売店が撤退し、コインロッカーが無い事に市民や観光客からの意見は。○ 観光客から不便利とはまかせ通り商店街に意見があり、対策を思案中。

○ JR金沢支社との話し合いは。対応は。

○ 昨年12月に報告を受けたが、制約や費用の問題等で方策は無い。

○ 観光まちづくりを模索しているなら市の責任でコインロッカー設置はすべきでは。洋式トイレやビニール傘自動販売機も必要。

○ JR側と協議を進めていて、コインロッカーを早急に設置する。長期的にはトイレ等、駅舎改修の課題はある。

○ 小浜市観光まちづくり計画の「まちの駅」の役割は。

○ 道の駅、海の駅と3

観光戦国時代に本気のまちづくりが必要

駅が連携することにより、産業、経済を活性化させる拠点である。

○ まちの駅の指定管理にまちづくり会社観光局が応募するべきだが理由は。他の考えは。

○ 人材の確保等が困難。JV(共同事業体)等も考えたが断念した。

○ 収益事業と公益事業の両建てが必要となるが、指定管理業者とどう関わっていくのか。

○ 観光局や各種団体との連携で、計画内容と意見は反映していく。

○ 現在の市長の思いは。

○ 28年5月オープンの際の駅は旭座を備えた市民と観光客の集う拠点として重要。オール小浜で運営したい。

○ 今後のおばま観光まちづくりの政策は。

○ フォンドによる投資事業の展開や、まち歩き観光エリアの空き家活用で、滞在型、体験型観光を進めたい。

○ 観光局の役割は。○ 観光まちづくりの舵取役「日本版DMO」。



昭 繁呂 議員

○ 小浜市が義務的に支出しなければならぬ経費や経常的に支出しなければならぬ経常比率は、県下17市町平均が90・6%であり小浜市は97・6%と大変高い数値を示している。今後義務的経費や経常経費の削減策について伺う。

○ 今後は公債費(借入金)も増加に転じるなど厳しい状況が続く見込みであるが、人件費も含めた聖域のない事業の取捨選択、見直しによる歳出の抑制や平準化を図っていく。

○ さらに施設の統廃合や、広域化、長寿命化などにより行政の効率化を図り、行政運営経費削減に努める。

○ 観光局はつばき回廊跡地の「まちの駅」

「やる気」があるのか？おばま観光局

の指定管理者になぜ応募しなかったのか？観光局の設立目的である将来にわたり持続できる地域経済の活性化に向け観光まちづくりをプロデュースし、けん引する役目の観光推進組織の「観光局」、多種多様な人材、機動力のある組織の「観光局」が入口でなぜ手を上げなかったのか、「やる気」がないと思われても仕方がない。またなか再生を進めるビッグチャンス、千載一隅のチャンス、経済活性化に向けた観光まちづくりに指定管理者になぜ応募しなかったのか、その理由を伺う。

○ おばま観光局が、3駅連携構想の一角を成す「まちの駅」の運営に携わる事は、意義あることであるが、「まちの駅」に課せられた役割を担うために必要となる人材を確保すること等が困難であることから、応募しないこととなった。



之 雅本 議員

○ マイナンバーのメリットは。

○ 市のメリットは、他自治体等との情報連携が可能になることで作業の重複等の無駄が削減される。また、公平な課税や困っている方にきめ細やかな支援を行うことができる。

○ 市民のメリットは、税や福祉関係の手続きで申請書類に添付する書類が不要となる。

○ セキュリティ対策と職員の研修は。

○ 不正アクセスを防止するファイアウォールと不正な通信を検知するサンドボックスを設置し情報流出の防止対策を図った。

○ 職員研修は、サイバー攻撃の対処方法、個人情報保護の研修のほかマイナンバーに関する研修を実施した。

民間委託は更なる市民の理解が必要！

○ 市民課窓口業務を民間委託にした目的、必要性、メリットは。

○ 市民サービスの向上と行政のスリム化、業務の効率化を図る。柔軟な人員体制の確立や窓口利用満足度の向上と職員の意識改革。

○ 今後、どのような方法で市民の理解を深めていくのか。

○ 民間業者には、各種証明書の発行業務など比較的簡易な業務を委託している。

一方、市の判断が必要で、個人情報の取り扱いに注意を要する業務、審査業務など公権力の行使および民間に委託できない業務は市職員が行っている。更に、委託契約書で個人情報保護に関する誓約書の取り交わし、守秘義務や教育研修の徹底を確約している。

○ 市民から問われた場合には、これらを説明し、「ご理解をいただく」とともに、チラシの配置を検討する。

一般質問



牧岡 輝雄
議員

問 農業について、国の補助制度に頼らない経営への取り組みは。
 答 農業者数は15年で概ね半減、そのうち約75%が65歳以上と高齢化が進行している。市は、自然光利用型の大規模ハウス整備や、大規模農業生産法人化の促進など、地域農業の維持・発展や担い手対策を行っている。市内への定住・就農につながる研修システムを構築し、今年度中に研修生の募集を開始する。

問 漁獲量の低迷で、漁業経営は厳しく後継者不足と聞かれます。
 答 漁業就業者も平成15年は248人であったが、平成25年は157人と大きく減少している。水産業の担い手育成・確保は喫緊の課題であり、国が策

定推進している「浜の活力再生プラン」の検討や、県が開設している「ふくい水産カレッジ」とも連携を図っていく。

問 林業については。

答 林業の活性化に向けて、26年度には間伐材を大量に用いた漁礁40基を若狭湾に設置し、地域材の利用を推進している。

問 小浜市の国内外への発信を大いに期待するが、若者が定着する具体的な取り組みは。

答 高校生がプロデュースする1日限定の「まちなかカフェ」をオープンし、若狭東高校と地域づくりの「連携・協力に関する協定」を締結。他にも「創業応援フェア」実施により7件が創業した。

問 小浜病院へのデマンドタクシーを導入できないか。

答 あいあいバス路線や小浜病院から駅までのデマンドタクシーの運行を検討していきたい。

少子高齢化対策など後継者育成を急ぐ



藤田 靖人
議員

問 観光誘客について①

答 インバウンド観光への取り組みと外国語に対応できる職員やボランティア等の育成について伺う。

答 スマホやタブレットでも閲覧いただけるサイトを構築した。外国語版観光パンフレットについては、4言語による作成を進めており、新たに多言語対応した観光案内看板を設置する予定である。外国人観光客へ対応できる人材は、ALT等との協力体制がとれればと考えている。今後、簡単な会話を指さしで行える「指さし会話シート」を作成し、ホテルや民宿、飲食店等で活用いただけるよう取り組みを進めている。

小浜市の活性化について

問 ②日本遺産の最大限

答 緊急度・重要度を判断して優先順位をつけて実施している。道路や側溝の整備については、整備区間の計画を立てて、その計画に基づき、着実に実施している。鳥獣害対策における侵入防止柵の整備については、現在、原材料支給で対応している。

の活用として、認知度を上げるため全国的な取り組みが必要と思うが市の考えを伺う。

答 日本遺産認定団体が連携して戦略検討を図る「日本遺産リーグ（連盟）」の結成が提案されたことから、本市を含む他の認定団体や文化庁とも協力しながら「日本遺産」を「ジャパンブランド」として国内外へ発信していきたい。

問 地区要望の継続中の事業についてはどのような取り組みをしているのか伺う。

答 市の公共交通機関は、コミュニティバス等をおおむね市の全地区を運行しているが、一部において空白地域と捉えられる場所があると認識している。

問 空白地帯をなくすために、若狭町のようなデマンドタクシーを導入すべきでは。

答 多額の経費等が必要になり、導入には大きな課題がある。

問 ③健康管理センターの建て替えの話がある

が、市営体育館周りの駐車場不足が指摘されている中、センター近辺の一体的な整備の観点が必要だが、現在の場所での建て替えを考えているのか。

問 ①公共交通が不便なため、特に村部の高齢者は、市内へ買い物や通院することさえ難しくなっている。一人暮らしの高齢者等の足が危機的状況になりつつある。小浜市では「公共交通空白地帯」をどのように把握・認識しているのか。

答 若狭の基幹病院である公立小浜病院にも近く、医療と健康、介護の連携が可能となるとともに市民に長年親しまれていることなどから、現在の場所を基本に考えている。

問 ④新健康管理センターは、子どもからお年寄りまで、全ての世代の「ふれあいの場」となることが重要であり、市民に開かれたセンターとなることを願っているが、市長の描くセンター像は。

答 保健・福祉・介護予防の拠点となることはもちろんだが、憩いの場集いの場となり、健康づくりのために市民が気持ちよく足を運びたくなる、笑顔で安心してお越し頂ける施設にしたい。

公共交通空白地帯にデマンドタクシーを



小澤 長純
議員

が、市営体育館周りの駐車場不足が指摘されている中、センター近辺の一体的な整備の観点が必要だが、現在の場所での建て替えを考えているのか。

答 若狭の基幹病院である公立小浜病院にも近く、医療と健康、介護の連携が可能となるとともに市民に長年親しまれていることなどから、現在の場所を基本に考えている。

問 ④新健康管理センターは、子どもからお年寄りまで、全ての世代の「ふれあいの場」となることが重要であり、市民に開かれたセンターとなることを願っているが、市長の描くセンター像は。

答 保健・福祉・介護予防の拠点となることはもちろんだが、憩いの場集いの場となり、健康づくりのために市民が気持ちよく足を運びたくなる、笑顔で安心してお越し頂ける施設にしたい。

が、市営体育館周りの駐車場不足が指摘されている中、センター近辺の一体的な整備の観点が必要だが、現在の場所での建て替えを考えているのか。



中下 雅之
議員

は、年が明けると小浜漁港での係留も2年近くになる。所管するのは県であるが、市での活用方法の提案に対する考えを伺う。

〔答〕北陸新幹線小浜ルートは昭和48年11月の整備計画で決定されたルートであるが、その裏付けとなった調査について伺う。

〔答〕昭和48年に日本国有鉄道・日本鉄道建設公団が出した調査報告書によると、福井市付近から米原町付近を経由して大阪に至る米原ルートと、福井市付近を通り大阪に至る小浜ルートを距離、時間、用地確保等の諸項目を総合的に検討した結果、小浜ルートを選定した、と報告されている。整備計画決定以降、小浜市内において、当時の日本鉄道建設公団が、地質調査等を行うという記録があり、実際にやっている。

〔問〕旧小浜水産高校の実習船であった雲龍丸

小浜ルート整備計画決定の裏付けとは！

〔問〕県において児童・生徒を対象とした体験航海や船内公開を検討しているのと伺っていることから、多くの市民や観光客が集まる海の駅でのイベントと同時開催できないか検討する中で、できるだけ多くの方に小浜の自然や水産業を学び楽しみながら、雲龍丸や小浜水産高校の歴史を紹介する機会を増やせるよう提案してまいりたい。

〔問〕地域協働型まちづくりモデル事業が、活発になると公民館職員も忙しくなると思われるが、その対応について考えを伺う。

〔答〕平成27年度と平成28年度はモデル期間であり、その間に公民館職員の事務量についても検討してまいりたい。



宮崎治宇蔵
議員

〔問〕平成27年は、正規294人、非正規245人で、非正規割合は45・5%。
〔問〕非常勤職員の育児休業等の取得について。

〔問〕介護報酬改定の影響について。

〔答〕通所介護・特別養護老人ホームなどはマインナス6%の改定。市内には、特別養護老人ホームが4施設あり210名が入所。通所介護事業所は10事業所あり、毎月650名が利用している。約7割の施設で減収となっており経営は極めて厳しい状況である。



〔問〕市職員数の推移について。

非常勤職員の育児休業など待遇改善へ！

〔問〕本年度は保育士の非常勤職員1名が取得中で、平成28年は3名が取得する見込み。
〔問〕世論調査によると、再稼働した原発で事故が起きた場合、住民が計画どおり避難できると思わないが74%に上っている。そこで住民の広域避難訓練について伺う。

〔答〕地域原子力防災協議会で対策が確認されれば、県において訓練内容や実施時期等、国と協議する。
〔問〕高い農業集落排水使用料の軽減について。

〔答〕全国平均よりも高い使用料としてご負担をお願いしていることから、全庁的な課題として、十分検討してまいりたい。

〔問〕日本遺産認定から半年以上経過するが周知やPR状況について。
〔問〕市HPや広報おばま特集企画、職員研修、教員への出前講座、ポスターや針畑越えツアー開催など。飲食メニューやラッピンググッズなどで民間団体も活用。
〔問〕日本遺産のまち小浜を発信するには様々な機会やツールでのPRが必要。動く広告として公用車やコミュニティバス、長距離トラック等の地域外へ出る車などハイメッセージ写真のラッピング補助をしてはどうか。はがきや封筒の印刷に使える観光スポット写真を活かしたデザインロゴ等のWeb上での提供や、日本遺産の郵便切手制作などは市民や民間団体にも情報発信の協力



熊谷 久恵
議員

得られるのでは。ラッピングは看板製作のスキルが応用できる為、地元でも可能。
〔問〕ブランド力が強いうちにスピード感をもって取り組む方針。関係機関と調整して前向きに検討していく。
〔問〕市民力で掘り起こされた地域資源をどう活用するのか。

〔問〕より魅力的な観光資源に磨き上げ、発信する取り組みをおばま観光局にて推進、若狭おばま観光協会、またロケ誘致に取り組み若狭おばまフィルムコミッションとも連携し地域の宝を全体的にプロデュースし発信するの観光局の役割と考える。市としても人材を含めた地域資源を活かした地域づくり活動を積極的に支援したい。

〔要望〕対外的なPR素材はグレードが重要。地域にあるスキルを活用し市民よし、観光客よし、地域よしを意識した取り組みを望む。

今あるモノやスキルで効果的なPRを

〔問〕より魅力的な観光資源に磨き上げ、発信する取り組みをおばま観光局にて推進、若狭おばま観光協会、またロケ誘致に取り組み若狭おばまフィルムコミッションとも連携し地域の宝を全体的にプロデュースし発信するの観光局の役割と考える。市としても人材を含めた地域資源を活かした地域づくり活動を積極的に支援したい。

一般質問

図 40年間の総額で約674億8千万円、1人当たり8・24㎡。単年度平均17億円が必要だが、現状15億3千万円なので、現状の56%

図1A 小浜市の公共施設を、維持管理、更新、増築、改廃、統合など、少子高齢化が進む中、税収とのバランスの中で計画を立てないと町が成り立たなくなる。人口の見通しと現在の状況を聞く。

図 市民1人当たりが保有する延床面積は5・08㎡、全国平均3・22㎡。市税の大幅な増収が見込めない中、現在の施設を保有・管理することは財政の大きな負担となる。

図1B 現在建てている建物や、予定している建物を除いて、今後の見通しは。



能登 恵子
議員

公共施設が大きな市民負担に！

図1C 今後のスケジュールについて。

図 今年度中に「基本計画」を立て報告し、それに沿った個別計画を策定していく。個別計画については、受益者⇨市民の理解と協力が必要となる。

図2 県下で2番目、燃えるゴミが多い小浜市。福井県が推進する「食べきり運動」について、現状と今後は。

図 生ごみの38%、その内賞味期限切れ、消費期限切れ、食べ残しの食品ロスが25%。生ごみの削減に、家庭向けと事業者向けに「宴会5箇条」を提案し、事業者にも協力を求めている。連合婦人会さんの活動を、少しでも取り組みやすい環境を作ることが大切。また「食べきり家庭応援店」59店舗をサポートする。本市の燃えるゴミ水分量50%「水切り運動」も同様に啓発している。



富永 芳夫
議員

図 市内の主要河川の河川整備計画の策定状況は。

図 北川、多田川は、すでに整備計画が策定されており、各河川管理者により工事が着手されている。南川は、平成23年12月に河川整備基本方針が策定されたが、河川整備計画策定までには至っていない。

図 小浜市は12年前の平成15年度から県へ南川整備計画の策定を継続して要望している。また県内の河川整備基本方針が策定された各河川は、すべて半年から1年程度で河川整備計画が策定されている。それなのに、南川では、河川整備基本方針策定後、現在も河川整備計画の策定には至っていないが、その理由は。

市内の河川整備について

図 県からは、「県としては、県内各市町から河川整備による洪水対策など強い要望があり、各河川の治水安全度など、優先度を見極めながら対応したい」と聞いている。

図 南川河口にある導流堤は、洪水時河川の流下能力を大きく阻害し、上流の水位を上げると考えるが、影響は。また、一昨年の台風18号の際、漁港岸壁が崩壊したが、その理由は。

図 平成25年9月の台風18号では、増水した南川の流水が左岸導流堤を乗り越え、勢いよく漁港内へ流入したことで、水衝部となる漁港岸壁の基礎部が洗掘され、岸壁が安定性を失い崩落した。このように、漁港区域との関係もあることから、導流堤の影響について、県は、南川河川整備計画を策定する際に十分検討したいとしている。

議会を傍聴しませんか？

議会を傍聴する手続きは、5階の議会事務局で住所と氏名を書くだけです。

— 3月定例会の予定 —

- 2月22日 (月) 本会議
- 2月23日 (火) 本会議
- 3月10日 (木) 一般質問
- 3月11日 (金) 一般質問
- 3月18日 (金) 本会議

今月の表紙

「かるた始め」

1月3日、御食国若狭おばま食文化館にて「かるた始め」が行われ、今年一年の精進を誓いました。

画像提供：小浜市かるた協会「沖の石」様

各委員会視察等報告

原子力発電所安全対策特別委員会

日程 平成27年11月6日(金)

場所 福井県越前市、鯖江市

各市において、スクリーニング場所での対応や交通渋滞の緩和、避難時の駐車場の確保や避難所の運営方法等について、現状の確認と意見交換を行った後、避難施設を数か所視察させていただきました。



受け入れ体制の確認を行う

越前市では、施設の取り壊しなどにより避難所の見直しが必要になるということや、道路が狭いところでの大型車両の通行の問題等について、現状をお聞きしました。また、鯖江市では、駐車場の確保や、避難先自治体との交流事業の実施などについてお伺いし、どちらも大変参考になりました。

総務民生常任委員会

視察日 平成27年11月11日(水)～13日(金)
視察先 新潟県見附市、千葉県習志野市

◆新潟県見附市

研修内容 スマートウェルネスについて

市全体で健康(健康)によるまちづくりに取り組んでおり、市のいたるところに歩かせる工夫がされていました。そのような取り組みの積み重ねで、市民の健康に対する意識が高まり、特定健診の受診率の高さだけでなく、医療費の低さ、介護認定率の低さにつながっていることを実感しました。



健康教室を視察

◆千葉県習志野市

研修内容 公共施設再生事業について
公共施設の再生事業には、それぞれの役割や利用頻度などの実態を把握する必要性があります。習志野市では早い段階でそれらを網羅した公共施設マネジメント白書を作成していました。現状を把握することで、延命化だけでなく、多機能、複合化による建て替えなどを計画的に進めていく必要性を研修しました。

北陸新幹線若狭ルート早期実現特別委員会中央要望活動

平成27年11月4日(水)、5日(木)

の両日、北陸新幹線若狭ルート早期実現特別委員会で中央要望を行いました。

国土交通省職員による勉強会の後、10月に就任された山本順三国土交通副大臣に若狭(小浜)ルートの重要性を主張し、早期決定を強く要望しました。また、福井県選出の国会議員だけでなく、敦賀以西検討委員会の西田昌司新委員長、滝波宏文事務局長をはじめ、できるだけ多くの委員と面談し、若狭(小浜)ルートを要望しました。

なお、この要望活動には小浜商工会議所も同行しました。経済界と連携した取り組みにより、強力に若狭(小浜)ルートをアピールできたと考えています。



山本順三国土交通副大臣と

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。

昨年の12月13日には北陸新幹線若狭(小浜)ルート建設促進総決起大会が開催され、国会議員や関係市民約500人が参集し、平成28年中の若狭(小浜)ルート決定を求める決議を採択しました。若い世代が地元小浜で暮らし、市民が快適で幸せな生活を送るためにも、今こそ市民一丸となって取り組まねばなりません。

小浜市には現在さまざまな課題がありますが、議会も一生懸命取り組んでいきたいと思っております。皆さまのご理解とご支援を心からお願いいたします。

本年もよろしくお願いたします。

(広報委員 藤田善)

